

# 株式会社ジェイコム船橋習志野 放送番組審議会 議事録

2015年度の放送番組審議会は、2016年2月17日(水)に船橋グランドホテル・蘭の間で開催された。

## <放送番組審議会委員>

ご出席

|        |             |
|--------|-------------|
| 伊藤賢二様  | 上原香様        |
| 大屋武彦様  | 海寶嘉胤様       |
| 国松美枝子様 | 山田宏様 (50音順) |

## 審議会会長選任

会長に伊藤様を選任した。

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき報告があった。

## 【審議 質疑応答】(伊藤会長による進行)

### ■『デイリーニュース船橋・習志野、八千代』について

(委員) 市民が多く出演すれば視聴者拡大になり、より一層番組 PR になるのでは。

市民からの取材希望(情報提供)の頻度、及び市役所広報課への取り次ぎは。

「ふななら仕事人」は良いコーナーだった。

(事業者) 番組認知度が低いのは事実、番宣放送や SNS 活用での積極的な PR 活動に取り組み、営業マンも番組チラシを配布し、視聴習慣の向上努力を継続している。

イベントは市役所広報課へ都度確認している。

「デイリーニュース」と「広報番組」の棲み分けは大事な要素で、寺社などの過去映像の貸し出し依頼もあるので、放送素材も意識して保管している。

### ■特別番組『下総三山の七年祭り』について

(委員) 今回は撮影に 13 クルーが稼働し、力を入れたということだが、取材依頼があったのか。公民館等の市の施設でできると思うがアーカイブの貸し出しは。

お祭りの歴史・由来・熱気がよく伝わってきており貴重な記録映像だ。

(事業者) お祭りなどのイベント特別番組の撮影は、通常 3~4 クルーだが、今回は7年ぶりの開催で特別に多く稼働した。取材の情報提供は視聴者からの電話や、局の営業マン、スタッフ独自調査もある。

VOD もあるのでアーカイブ活用は可能だが、主催者や取材先への権利許諾が必要。

#### ■その他の特別番組 について

(委員) 「船橋花火大会」や「千人の音楽祭」等のイベント特別番組は、会場で観られない視聴者が楽しめる。テロップ表現方法に高齢者対策の工夫をして、バリアフリー化に取り組んでほしい。

#### ■その他のご意見

(委員) 番組及び制作スタッフの品質管理体制は。

(事業者) 番組及びスタッフの評価軸は、視聴率主義ではなく、番組を主体とした地域との関わり方と考えている。広く多くの視聴者への番組よりも、一部の視聴者にだけでも喜んでいただける番組作りを、局とメディアセンターが協力して積み重ねている。

(委員) ケーブルテレビ局は、制作スタッフの情熱と技術で地域のために番組の制作と放送ができる大変幸せな仕事場(会社)だ。

地元の公民館イベント情報などの静止画テロップ告知は5分程度でも是非続けてほしい。また、地元の天気予報や交通情報は、出かける前にチェックしている視聴者が必ずいるはずで視聴習慣化となる。今後は湿度も表示してほしい。

船橋市の高齢者への地元情報は、広報誌の他にケーブルテレビも大事だ。

「産品ブランド」について広報番組を含め3番組で紹介してもらったが、放送日の調整や統一戦略が必要だ。

八千代市も同一放送エリアとなったが、地域密着をバランス良く。

(委員) 今年度の視聴者からの反響ベスト 10 番組が知りたい。

地域プロデューサーを中心に、地域から愛される J:COM 目指して頑張してほしい。

#### 閉会 (事務局)

各委員からの貴重なご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていく所存である。

以上